

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002

URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

今秋からは日本ボート協会が全国のロングレース(ヘッドレース)をまとめ、「ローイングを楽しもう!」キャンペーンを広げています。北から南へと秋の深まりとあわせて日本を下っていく日程となっています。夏のレースで疲れた選手とコーチ、そして関係者がゆったりとした気持ちで秋のローイングを楽しみ、自分の漕ぎを見つめ直すよい機会です。来年からはもっとレースが増えて愛好者の交流と新しいローイングが盛んになることを願っています。桑野もできるだけ会場に出かけて皆様にお会いしたいと思います。

桑野造船 会社目標

確かな技術と情熱でヨーロッパ艇に挑戦!!
お客様にとってなくてはならない桑野になるために

- * すぐやる 必ずやる できるまでやる
- * 顧客側にとった徹底したサービス
- * 感性を豊かに (夢・感動・新感覚)

新しいローイング ~ 初心者・生涯スポーツとしての楽しみ ~

ローイングの本当の楽しさを感じられる良い季節となりました。桑野は Enjoy Rowing を支援するため、次のような提案をしています。また、Adaptive Rowing(障害者ボート)への艇の準備検討をはじめました。

<p>ナックルフォア・ナックルシックス アルミ製ハニカム構造のために土足の乗艇もOKです。市民大会や学内・社内レガッタに堅牢さを発揮します。遠漕用に6人乗りも製作できます。</p>	<p>スカルフロート&救命ジャケット 初めてのスカリングを助けます。両手を離しても転覆しません。また、救命ジャケットはボート専用でローイング動作を妨げないように工夫を重ねました。</p>
<p>ツーリングスカル・ツーリングダブル 艇幅を広くして程よいバランスと直進性を備えています。家族で漕いだり、市民大会でナックルフォアに飽きた方にお勧めします。また、上級選手の水上海上パワートレーニング用としても最適です。</p>	<p>シングルスカルCモデル 艇構造を1枚のFRPとして、キールを再現し艇剛性を実現しています。レース艇と同じ型で価格は50%以下を実現しました。1人1艇のトレーニングボートとしても人気があります。</p>
<p>二分割型シングルスカル 自家用車で自由に移動ができます。自宅やガレージに保管もできますので、マイスカル艇として重宝していただけます。分割により1~1.5kg重くなります。</p>	<p>中国製廉価オール スカルオールもかなり高価です。安くて品質向上の著しい中国製のスカルオールを初心者に自信を持ってお勧めいたします。</p>

規格艇利用の裏技

新規規格艇による初めてのインターハイと国体が終わりました。2つの大会から得られた情報をもとに改良を検討中です。従来よりも、大幅に性能が向上した新規規格艇を利用すれば、安い費用で海外メーカーの高級レース艇に充分戦える艇が得られます。新規規格艇・旧規格艇を利用した裏技をご紹介します。

	裏技(パーツを元に戻せば規格艇)	超裏技(規格艇には戻せない)
FISA型新規規格シングルスカル	L版リガーを国際標準リガーに取り替えることで艇重量を14.8kg程度にする。バックステーをはずせばさらに軽くなる。注1	・旧規格艇女子型を用いて小型選手向けに全長7.36m(54cm短い)の艇をつくる。 ・ハニカム構造で製作することで高剛性14kg艇を安価で作れる。
FISA型新規規格ダブルスカル	L版リガーを国際標準リガーに取り替えることで艇重量を27kg程度にする。	・旧規格艇女子型を用いて小型選手向けに全長9.36m(40cm短い)の艇をつくる。 ・ハニカム構造で製作することで高剛性27kg以下の軽量艇を安価で作れる。
ヤマハ404型舵手付フォアノクオドルプル	・L版リガーを国際標準リガーに取り替えることで艇重量を53.5kg(4+)、55.5kg(4X+)程度にする。 ・舵を大面積のものに取り替えて操舵を容易にする。注2	規格艇型を利用したトップコックス艇を作る。海外メーカーでは得られない安定性抜群のトップコックス艇となり、特に高校、大学生クルーに最適。

注1: バックステーの効能・バックステーはオールから受ける漕力によりクラッチ軸が倒れることを防止します。後傾と同時にキャッチ~ミドルでは内傾、ミドル~フィニッシュでは外傾します。いずれもブレードが切れ込む方向に倒れるのを軽減する役割があります。

注2: 舵の役割・いうまでもなく艇の方向のコントロールです。面積の増大は舵のキレを良くしますが水との摩擦抵抗が増えます。また、艇軸に対して45度以上に舵角をとることは抵抗が急増するのみで舵の効果は激減するので注意を要します。

BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX (077-573-8002)又はE-Mail (kuwano@k-boat.co.jp)で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。